

JOYAMA NEWS

University of Teacher Education Fukuoka
Campus Magazine

vol. **49**

2021 Spring

Joyama 通信
福岡教育大学広報誌

特集

コロナ禍での教員採用試験



国立大学法人

福岡教育大学

特集

コロナ禍での 教員採用試験



CONTENTS

vol.

49

02 特集

コロナ禍での教員採用試験

15 福教大NEWS

18 教員紹介

&学生から見た先生の魅力

19 サークル紹介

水泳部
管弦楽団

20 第26回 福教大卒OB&OG紹介

宗像市立日の里東小学校教諭
伊藤 夏美さん

熊本県立熊本北高等学校
大谷 淳さん

22 TOPICS

福岡教育大学オリジナルグッズの
販売を開始しました

表紙モデルの福教大生
福岡教育大学基金のご案内

23 キャンパスからの便り

誰も予想できなかったコロナ禍。試験内容の変更など教員採用試験も多大な影響を受け学生の皆さんも不安を抱えながらのチャレンジとなりました。本学では、例年であれば学内のいたるところに学生同士学び合う姿があふれていますが、今年はそれがありません。一人で孤独と闘いながらのチャレンジは想像以上に辛いものだったと思います。それにもかかわらず昨年度と同様に多くの学生の皆さんが「教員になるという夢」を実現しました。率直に、皆さんのチャレンジに敬意を表します。

キャリア支援センターでも、混乱の中「どうすれば学生をサポートできるのか」模索する日が続きました。その中で、ICTを取り入れたサポートにもチャレンジしました。対面授業再開後は、感染症対策を万全にしながら、模擬授業、面接指導など、例年通りのサポートも実施しました。例年と変わらぬ、いやそれ以上に熱いサポートができたのではないかと自負しています。このようなサポートができたのは、いつも最前線で親身に学生の皆さんをサポートしてくださる「就職支援アドバイザー」や特命教授の皆さま(本学では、教職経験のある10名の先生方が活躍されています)に奮闘いただいたおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。

もちろん、残念ながら現役合格をつかめなかった学生の皆さんもいます。でも、前を向ってください。皆さんは今回のチャレンジで大きく成長しました。この成長を次のチャレンジにつなげてください。次の一步は大きな一步になるはずです。期待しています。

キャリア支援センターでは、学生の皆さん一人一人が自分の夢を実現できるように、これからも皆さんの学びをしっかりとサポートしていきます。今回学んだこと「チャレンジのあとに成長あり、成長のあとにチャレンジあり。」これからもみんなでチャレンジしていきましょう。

キャリア支援センター長 生田 淳一



教員採用試験合格状況

令和2年度実施公立学校教員採用試験の合格者数は、合格者が大幅に増加して全体的な合格率も大幅に上昇した昨年度に引き続き、高い水準となりました。今年度は、平成28年度学部改組(生涯課程を廃止し、教員養成課程に特化)後の第2期目の4年生が受験する年度であり、今回の結果は、入学時から4年次までの高い教員志望度を反映していると考えられます。そのことから、福岡県内をはじめ、九州地区は昨年以上の合格者数・合格率となりました。

また、今年度は新型コロナウイルス流行の影響により、試験内容や実施方法の変更が多く見受けられました。感染拡大防止の観点から、試験当日は検温やマスク着用、アルコール消毒などが実施されました。また、自治体によっては集団討論や集団面接、適性検査などが中止されたり、北九州市や広島県・市では1次試験が行われなかったり、1次試験と2次試験があわせて実施されるなど、受験生への影響は少なくなかったと思われます。集団討論に強い印象のある本学の学生もその影響を受けたと思われますが、そのような中でも全体的な合格率は前年を上回る健闘ぶりでした。〔表1、表2〕

〔表1〕平成30～令和2年度実施公立学校教員採用試験の校種別合格状況

(令和3年2月2日現在)

実施年度	小学校				中学校				高等学校				特別支援学校				合 計				
	出願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	出願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	出願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	出願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	出願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	合格実人数
R2	369	346	285	77.2	143	105	72	50.3	76	33	13	17.1	70	62	48	68.6	658	546	418	63.5	383
H31(R元)	369	309	272	73.7	131	93	58	44.3	76	41	15	19.7	69	62	43	62.3	645	506	388	60.2	380
H30	292	231	183	62.7	184	113	54	29.3	102	46	22	21.6	63	50	36	57.1	641	440	295	46.0	284

(注1) 出願者数: 併願を含む (注2) 最終合格者数: 複数合格を含む

〔表2〕自治体別公立学校教員採用試験合格者 内訳

(令和3年2月2日現在)

自治体 実施年度	九州・沖縄											小計 (九州・沖縄)
	福岡県	福岡市	北九州市	佐賀県	長崎県	熊本県	熊本市	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
R2	169	54	70	19	15	10	9	10	11	5	2	374
H31(R元)	197	37	32	15	15	14	3	10	8	3	2	336
H30	147	33	38	9	6	4	0	6	3	3	0	249

	山口県	広島県・市	岡山県・市	島根県	香川県	愛媛県	高知県	兵庫県	大阪市	静岡市	他	合計(全国)
R2	12	17	2	1	1	3	1	1	1	1	4	418
H31(R元)	13	13	3	3	1	3	2	1	0	0	15	388
H30	8	12	1	3	0	1	1	1	0	0	18	295

※延べ人数

福岡県小学校
合格!

なか あき まさ
中 謙真さん

中学校3年生で学校の先生を目指す。大学が閉鎖されたコロナ禍には友人同士で毎朝の「Zoom勉強会」を企画してモチベーションを維持。



2021年度 教員採用試験 合格者

私たちの 合格までの

先生になるには避けて通れない「教員採用試験」。世界が未曾有の2020年も全国で試験が実施されました。今年度も多くの福教大生が夢を実現しましたが、合格までの道にはそれぞれどのようなプロセスでしょうか。教員採用試験は、都道府県および主に政令指定都市によって試験の内容や出題傾向もそれぞれ異なります。今回は、福岡県の小学の特別支援学校小学部、長崎県の中学校音楽、岡山市の小学校を受験した4人の福教大生に、勉強法や対策、コロナ禍での工夫、役にメの参考書まで、教員採用試験「合格までの道」を聞きました!

筆記試験は過去問を“繰り返し”がコツ。 4人中3人が愛用していた問題集、 ただし“使い方”も肝心!?

——教員採用試験(以下、教採試験)は採用地域や校種・専門教科によって試験内容がそれぞれ違います。まずは一次試験(筆記試験)の「教職教養」と「一般教養」の勉強法について聞かせてください。

中さん 僕は福岡県の教採試験(小学校)を受けました。福岡県の一般教養試験は小・中学校で学ぶ教科書から出題される傾向があるんですが、僕は学習塾でアルバイトをしているので普段から子どもたちに教科の勉強を教える機会が多かったんです。それで、試験対策として改めて一般教養の勉強はせず、その時間を教職教養の勉強に使いました。教職教養は教育学から教育法規まで範囲が幅広く、それでも時間が足りないほど。過去問をとにかく解き続けました。

山上さん 私は岡山市(小学校)の教採試験を大学推薦枠で受験しました。推薦枠は教職教養・一般教養の筆記試験が免除されますが、推薦枠に入れるかが決まるのは4年生の4月。なので、それまでは普通に受験するつもりで、私も過去問を繰り返し解いて勉強しました。

船津さん 長崎県(中学校)の教採試験は、教職教養と一般教養

が1つの試験にまとめられていて、同じ時間内に両方を解いていくんです。もちろん両方を勉強した方が良いんですが、私は進路を決めるのに時間がかかって試験勉強を本格的に始めたのは3年生の2月の終わりくらい。7月の一次試験まで時間が限られていたので、教職教養と、それから専門教科の音楽の勉強に集中しました。煮詰まったときだけ、好きな数学の問題を解いて、気分転換しながら。

平野さん 私は皆さんとは少し違って、教職教養よりも一般教養と小学校全科の点数が少しでも伸びるように時間をかけて勉強しました。というのも、鹿児島県(小学校)の過去問を見ると回答方式が“選択式”ではなくて“記述式”なんです。高校までの定期テストと同じ要領で勉強しないと点数が取れない!と。私は船津さんとは真逆で理系科目、特に数学が苦手で、参考書を見ても理解できないこともあって…。

——理解できない問題は どうやって勉強したんですか?

平野さん 友達に助けてもらいました。数学が得意な友達に分からない問題をLINEで送って解いてもらうんです。友達が解いてくれた回答を見てもよく分からないときは電話で教えてもらったり、理解できるまでとことん。教職教養の勉強も同じで、問題集を買って全ページで満点を取るまでやり続けました。何回も何回も繰り返しノートに書いて、本番の試験までに1冊の問題集を5周はしたんじゃないかな。

座談会

道

事態に陥った
「教員になる
があったので
て実施され、
校、鹿児島県
験し、合格を
立ったおスス

鹿児島県特別支援学校
小学部 合格！

ひらの はるな
平野 晴奈さん

「教採試験を受けるのは一度だけ」と心に決めて、試験勉強と就職活動を並行。見事、内定をもらったうえで念願の教採試験にも合格！

長崎県中学校
音楽 合格！

ふなつ あいり
船津 愛莉さん

5歳からピアノを続け、一時は音大の大学院ピアノ科へ進学を考えていたほど。教採試験に進路の舵を切り勉強を始めたのは3年生の2月から。

岡山市小学校
合格！

さんじょう はるこ
山上 晴呼さん

教師の母を見て育ち、先生の夢を抱く。「大学推薦枠」に選ばれ、二次試験を突破して地元の岡山市に合格。小学校からの趣味はバレーボール。



中さん 繰り返しやるのはすごく大事ですね。過去問題集で「全国まるごと過去問題集」というのがありますが…。

平野さん 全国の過去問が都道府県・市別に載ってる問題集ですよ。私もしました。

中さん そう、問題が都道府県・市別に載っているんで、僕は最初、1日目は北海道の問題、2日目は青森県…って順番にやって日本一周したら、また北海道に戻って…という使い方をしていたんですが、模擬試験の点数が全然伸びなかったんです。要は日本一周しているうちに忘れてるんです、復習が甘かった。途中でそれに気づいて勉強法を変えました。1日目に北海道の問題を解いたら、2日目は青森県と北海道。3日目も北海道の復習をして…と復習のスパンを短くしたら格段に覚えがよくなって模試でも結果が出るようになりました。

——山上さんはどんな問題集を愛用していましたか？

山上さん 先ほど中さんが話していた「全国まるごと過去問題集」は、私も使いました。全国の過去問が載っているんで、幅広く勉強できるし、出題傾向をつかみやすかったです。

中さん 使いやすいですね。ほかでいうと、教職教養の苦手分野をピンポイントで勉強できる「30日完成シリーズ」もよく使いました。

——参考書を選ぶときのコツは何かありますか？

船津さん 本屋さんで気になるものを何冊か開いてみて、パッと読

んだときに「頭に入りやすそう！」と感じるものを選びました。問題と解答だけではなくて、“解説がしっかりしているもの”を基準に「これだ」と思う1冊を選んで、線を引いたり付箋を貼ったりすぐ使い込んで、もう愛読書みたいに。いろんな種類の参考書・問題集に手を伸ばしたい気持ちもありましたが、あれこれ浮気しても情報が多すぎて「これも覚えないと…」って焦ったりするから、これ！というものを決め込んで同じものを何十回も繰り返し解くことにしました。



中
さんの

試験勉強の必須アイテム

中さんおすすめの「30日完成」シリーズ。「試験会場に必要なページだけ持って行けるようにしたくて」ノートはルーズリーフを愛用。見たいページがすぐ見つかるようインデックスシールで項目分けも。



山上さん・中さん・平野さん うんうん。

——皆さん頷いていますが、やはり同じものを繰り返し？

平野さん はい。自分が選んだものをとことんやって、もし本番で全く違う問題が出たら、それはもう仕方ない！って腹をくくる感じ…。

舩津さん そんな感じそんな感じ！

平野さん だよ。その代わり、自分が選んだ問題集に載っていた問題が出たら100%絶対に解けるようにする！っていう覚悟というか、それくらいの気持ちでやっていました。

——平野さんは校種が特別支援ですが、どんな勉強をしましたか？

平野さん 特別支援の勉強も気に入っていた参考書のシリーズで揃えたかったんですが、鹿児島県の特別支援学校版が出ていなかったんです。それで、まずは大学の「キャリア支援センター」で過去3年分の過去問をもらいました。それを解いた後に全国版の過去問を買って3周くらい解きました。私の勉強法は「とにかくノートに書いて覚える」。過去問の回答をノートに書いて、間違えたところは参考書を見てポイントもノートに書き込む。自分でルールにしていたのは、同じ問題を間違えたときは「前回まとめたから今回はいいや」ではなくて、「間違えたら間違えただけまとめること」。おかげでノートが何冊も溜まりました。それを見ると「これだけやったんだ」という自信になったし、試験の前日、緊張して何をすればいいかわからないときも結局ノートをひたすら見返して。きれいにまとめたノートではないけど勉強の記録、足跡みたいな。私には合っている勉強法だったなと思います。

——昨春は新型コロナウイルスの感染拡大による国の緊急事態宣言を受けて、福教大も構内への立ち入りが一時禁止されました。大学に来られない想定外の事態でしたが、大変だったことはありますか？

中さん 生活のリズムが乱れて朝起きられなくなりました。これを何とかしようと始めたのが友達とのWEB勉強会です。「Zoomミーティング」アプリを使って、毎朝9時に友達5人とWEB上で集合することにしたんです。もし9時にログインしてこないメンバーがいたら電話して起こし合って。5人とも教採試験を受けるメンバーなので勉強のモチベーションを保つ意味でも良いアイデアだったかなと思います。

——教採試験を受ける仲間が周りに大勢いるのは福教大ならではのですね。Zoomで集まってどんなことをしていたんですか？

中さん 「今日は教職教養をしよう」とかその日のテーマを決めて、問題を出し合ったり、得意教科の解説をシェアしました。学校が再開

した後もWEB勉強会は一次試験の直前までずっと続けましたね。

教採試験合格を目指す福教大生の味方、「キャリア支援センター」って何？

——先ほど少しお話が出ましたが福教大の「キャリア支援センター」は、教採試験の対策講座やサポートも行っています。活用しましたか？

山上さん 新型コロナで構内の立ち入りが禁止されるまでは、私はほぼ毎日キャリア支援センターで勉強していました。講座は教科別や地域別に分かれていて、去年の試験問題を解説してもらったり、傾向を皆で調べたりして。構内に立ち入りができなくなってからは対面での講座は中止されましたが、先生方が対策講座を動画に撮って送ってくださったり、プリントをもらったり。とにかく心強かったです。

舩津さん 私は進路を決めるのが遅かったので、本格的に勉強を始めたときには新型コロナでキャリア支援センターの講座も全て中止になっていて…。一次試験ではキャリア支援センターを頼れませんが、二次試験の対策ではかなりお世話になりました。面接指導や、小論文を何度も見ていただいたり、私もほぼ毎日顔を出していた感じです。

——平野さんは先ほど「過去問をもらった」というお話でしたよね？

平野さん はい。鹿児島県担当の先生もいらっしゃるので、傾向を聞いたり、勉強の進め方の相談もしました。二次の面接試験で重要になる自己申告書についても、書き方の指導や添削をメールで何度もやりとりしてくださって。週2回くらいの頻度で通っていました。

地域によって傾向が違う教採試験。試験の情報収集法と面接対策は？

——教採試験は地域や校種で試験の内容、傾向が違いますが、それぞれ試験の情報収集はどのように行いましたか？

中さん 僕は志望が福岡県なので、大学にいればじっとしていても情報が入ってくるような状態でした。福岡県・福岡市・北九州市の教採試験については本当に情報が豊富で。福教大ならではのですね。有難かったですね。それに加えて、教育委員会のHPを見たり、友達に話を聞いたり、勉強法については先輩に聞いたりもしました。

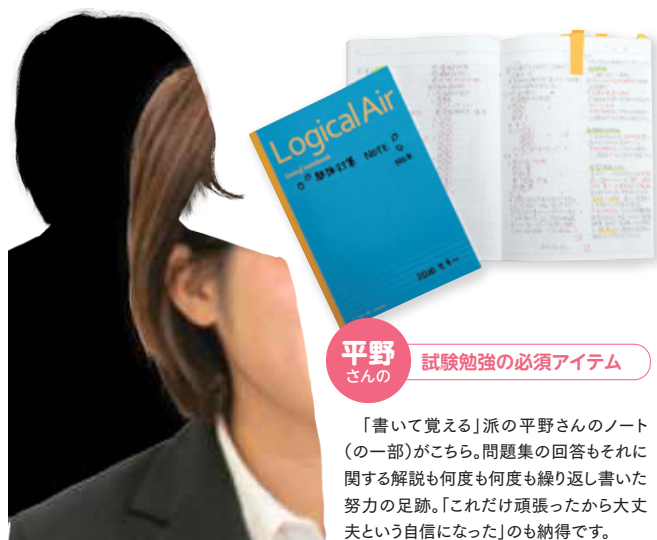
——ほかの方は福岡県外での受験でしたが、情報収集はどのように？

舩津さん 私は同じ長崎県の中学・音楽を志望している子が大学内にいたので、「実は私も受けようと思ってるんだ」と話して、勉強法などいろいろ教えてもらいました。同じ目標に向かって一緒に頑張る人が身近にいるのが存在として大きかった。感謝しています。

——福岡県外で受験するうえで何か特別な対策をしましたか？

舩津さん 「長崎県で求められている教育って何だろう？」というのは意識しました。例えば、長崎県は島の数が多いので離島教育の課題があったり、原爆被爆都市なので平和教育にも力を入れています。二次試験の個人面接で「なぜ長崎県を受験したのですか？」と聞かれたときに自分の考えを言うためにも、それから、特色をきちんと知って地元の教育を担える先生になりたい思いもありました。長崎県のHPをよくチェックして正しい情報をしっかり得るようにしていました。

平野さん 私は早い段階で「就職は鹿児島で」と決めていたので、大学2年～3年生の頃から、鹿児島県の教育委員会の方が福教大で説明会をするときは必ず参加するようにしていました。





——山上さんは「大学推薦枠」での受験でしたが、岡山市に大学推薦枠があるという情報はどうやって知りましたか？

山上さん 実は、推薦枠があること自体、全く知らなかったんです。キャリア支援センターに通う中で「岡山市を受けようと思っています」という話をしていたんですが、そこから推薦担当の方に話がまわったようで。大学の方から「岡山市には大学推薦枠があります。受けてみませんか？」とお声がけいただいて。そこから大学推薦枠について自分で調べたり、同じように大学推薦枠で受験された先輩にお話を伺って「私も大学推薦枠で受けてみよう」と決めました。

「個人面接」の対策は必要？ 実際に聞かれた想定外の質問とは

——教採試験の二次試験では、個人面接をはじめ、集団討論や模擬授業などが行われます。個人面接ではどんな対策をしましたか？

中さん キャリア支援センターで一緒になったメンバーで集まって、週2回ペースで練習会をしていました。キャリア支援センターでもらった面接の予想問題集を片手に、「これを聞かれたらどう答える？」とお互いの意見を出し合いました。メンバー全員すごく意識が高かったので「自分ならこう答える」「私ならこうかな」という意見がどんどん出てくるし、そこで出た良い意見を真似し合うのをよとする空気も心地よかった。「面接は個人なんだから、似たような回答になっても問題ない。皆で合格しよう！」という感じで。おかげで自分にはない考え方、発想をずいぶん吸収できたように思います。

——面接を練習し過ぎると、用意したコメントの棒読みになるんじゃないか…という心配はありませんでしたか？

中さん それはありませんでした。というのも、練習は「良い回答を暗記する」ためではなくて、「話の構成力」や「自分なりの表現、語彙

力」を磨くのが目的というか。良い意見を真似るのも「セリフを丸ごとコピーする」のではなくて、要素だったり、構成のうまさを取り入れて、結局は自分の言葉で回答することになるので。

船津さん 分かります。私が受けていたキャリア支援センターの面接指導は1対1で面接する様子を皆で見るんですね。先生も「個人面接は一人ずつだから良い回答はどんどん取り入れなさい」と仰っていて。取り入れるにしても、やっぱりそのままコピーではなくて自分の言葉で考え直すんです。自分だったらこういう表現にするかな…とか。

山上さん 私もキャリア支援センターで指導を受けました。周りには私と同じ岡山市を受験する人はいなかったんですが、友達同士で「その問いは私だったらこう答えるよ」とか意見を言い合って。

平野さん この流れで言いづらいですが…、私は個人面接に関しては1回しかキャリア支援センターの指導を受けませんでした。あまり



船津さん

試験勉強の必須アイテム

音楽の筆記試験に向けて曲名を覚えるのがいちばん大変だったという船津さん。「教科書に載っている楽曲が試験に出やすいから」とフリマアプリで音楽の教科書を購入し、参考書と併用して勉強。





練習し過ぎると構えてしまうかなと思って…。

——正直な告白ですね。面接対策は全くしなかった？

平野さん いえ、過去の質問を自分で調べて、それに対する回答を考えて箇条書き程度にまとめていました。本番では、質問をよく聞いて、回答が質問から外れないように「面接官と会話すること」を意識しました。まずまずうまくいきましたが後輩の皆さんにはおすすめしません。やっぱり、きちんと対策した方がいいと思います！

——本番の個人面接では、皆さんどんな質問をされましたか？

中さん 人権教育や理想の児童像・教師像についてなど、ほとんどが対策していた想定内の質問でした。ただ、たまたまかも知れませんが、1つの回答に対して深掘りして質問されることが多いなと感じ

ました。例えば、人権教育の回答で僕は中国で現地の大学生と交流した経験話をしたんですが、そのことを深掘りして聞かれました。

船津さん 私は「中学生は多感で教育も難しい時期。なぜ中学校の教員を選んだのですか？」と。想定内の質問だったので問題なく答えられましたが「中学校の教員として…」という質問は多かったですね。

平野さん 私は大学4年間、合唱部の活動に打ち込んだので面接官にその話をすると、関連して「学校でも歌を指導する場面がありますが、子どもたちにどんなことを教えたいですか？」と聞かれました。ある程度、予想していた質問だったので「歌の技術だけではなくて、歌うことの楽しさ、人前で歌うのは緊張するけど達成感もあることなど、“歌を通してできる経験”を教えてあげたいです」と思うまま答えました。ほかに部活動の話は面接の自己PRとして結構使いました。

——実際にがんばってきたことでもんね。山上さんはバレーボール部ですね。面接で部活動の質問はありましたか？

山上さん はい、多かったです。「部活動で身につかったことは？」「どんなことが大変でしたか？」とか、どれも経験で話せるのでスムーズに答えられましたが、1つだけ「自分の性格をポジションにたとえるところですか？」という質問は少し慌てました、想定外だったので…。

——ユニークな質問ですね。どんなふうに答えましたか？

山上さん 「アタッカーだと思います」と答えました。「アタッカーは皆が繋いだボールを最後に受けるポジションです。私も周りの皆の思いや、してくれたことをきちんと受け止めながら行動するようにいつも心がけています」と。

船津さん・中さん・平野さん おお！完璧！



山上
さんの

試験勉強の必須アイテム

山上さん愛用の「全国まるごと過去問題集」。全国の教採試験の過去問が載っており、ほかの座談会参加メンバーにも愛用者が多かった1冊。

模擬授業、集団討論、教科面接 二次試験対策と本番で起こった想定外

——二次試験では模擬授業や集団討論などもあります。中さん（福岡県）と山上さん（岡山市）は二次試験で「模擬授業」を行ったとか。実際の試験の流れを教えてください。

山上さん 2枚の紙にそれぞれ違う授業のテーマが書かれていて、そのうち1枚を自分で選びます。どんな授業にするかを考える時間が3分間、模擬授業が7分間でした。キャリア支援センターで模擬授業の練習をする中、私は自分の「授業の型」みたいなものを作っていました。授業の始め方、質問の投げかけ方、子どもたちへの声掛けといった、その「型」に沿って本番も落ち着いてできたかなと思います。

中さん 型を作るって大事だと思います。僕も自分の型、授業のパターンをいくつか作って本番に臨みました。題材によって「この題材ならこのパターンでいける」と選べるくらいバリエーションがあれば強いと思います。福岡県の模擬授業試験は教科ではなく学活（学級活動）なので、とにかく様々な題材で模擬授業を何度も練習しました。——長崎県は前年までの模擬授業が「教科面接」に変更されたとか？

松津さん そうなんです、前例がないのでどんな対策をすればいいか分からなくて。キャリア支援センターの先生とも話しながら、学習指導要領に則って「こういうときはどう指導をしますか？」と質問を仮定して回答する、という練習をしていました。当日は、面接室の外でまず課題が書かれた紙を受け取りました。私の課題は「合唱コンクールに向けて音取り（各自が自分のパートをひと通り歌える状態）まで終わっています。そこからどのように指導をしますか？」。しばらく考える時間をもらって、面接室に入ると「では、あなたの考えを聞かせてください」と。自分の考えを発表し終えると、そこから発表に対して深掘りの質問をされるという流れでした。答えやすい課題でしたし、練習したことも活かして、わりとうまくいったかなと思います。

——平野さん（鹿児島県）は集団討論ですよね。先ほど「個人面接の練習はあまりしなかった」そうですが、集団討論はどうでしたか？

平野さん 集団討論の対策はがんばりました！キャリア支援センターの先生に「集団討論では教員としての在り方、視点が評価される」と指導を受けていたので、それを意識しながら何度も集団討論の練習をしました。ただ…本番と練習で状況が全く違ったのが、集団討論のメンバーが私以外全員、臨時採用など講師経験がある方ばかりだったんです……。討論のテーマは「9月入学制に賛成か反対か」だったんですが、現場経験がある方ばかりなので話の軸が学校業務になっていった。私には話せることがない、どうしよう…と。

——討論のメンバーがどんな人になるかは事前に分からないですよね。唯一の学生としてどう立ち回ったんですか？

平野さん 状況を逆手にとらえて、学生の立場をおしていこう！と気持ちを切り替えました。自分の知らない学校業務の話には「そうなんです」ときちんと相槌を打って、分からないことは「こういう場合はどうするんですか？」と質問したり。皆さんとは違う視点として「学校が休校になったことでご家庭ではこんな問題があったようなんです」とニュースで見たことを投げかけたり。すると今度は周りの方々が「そうなんですか」と聞き役にまわってくれて、結果的に討論の雰囲気がすごく良くなって制限時間もピッタリでした。事前にしっかり対策しておいたから落ち着いて対応できたのかなと思います。

——いよいよ今春から先生になる皆さん、最後に「こんな先生になりたい！」という目標を聞かせてください。

山上さん 私は笑顔でいることを大切にしているので、子どもたちと関わる中でも笑顔を大切にしたいです。苦しいこともあると思いますが、子どもたちが笑顔になるような環境づくり、信頼関係を築くことができる笑顔あふれる先生になりたいと思います。

中さん 大学の実習やボランティア活動を通してこれまでいろんな先生をたくさん見てきました。振り返ってみると、先生自身を見て「いい先生だな」というよりも、「このクラスの子どもたちの姿はすごいな」と思ったときに「先生はどんな指導をしているんだろう？」と思うことが多かったんです。だから、僕もまずは子どもたちがいきいきとしているクラスをつくっていける先生になりたい。そして、そのために自分自身も学び続け、成長し続けたいと思っています。

松津さん 中学生は多感で、悩みも多い時期です。私自身もそうでした。だから子供たちの悩みにしっかり向き合っていきたいと思っています。生徒みんなに好かれようというより、一人ひとりの心と向き合える、同じ目線に立って一緒に考える、そういう姿勢を大切にしていきたいなと思っています。

平野さん 特別支援学校の子どもたちは障がいがあるがゆえに、いろんな経験が不足していたり、いろんなことを断片的に覚えている、という子たちがいます。だから私はやっぱり“経験”を大事にした授業をしていきたいです。授業の中で驚いたり、新しい発見に面白い！とワクワクする気持ちを大切に、一緒に喜んだり悩んだり、子どもたちと一緒にその場にいる、寄り添っていける先生になりたいと思います。

——今日はありがとうございました。皆さんのこれからのご活躍を福教大も応援しています！

大学推薦制度について

教員採用選考試験では、一部の自治体が第1次選考免除等の優遇措置が受けられる大学推薦制度を設けています。

令和2年度は、北九州市、宮崎県、横浜市、岡山市、愛知県等が大学推薦を実施しました。

募集を行う自治体は、毎年同じとは限りません。

大学推薦については、大学に情報がきます。

大学からの推薦条件もありますので、早めにキャリア支援センターで確認しておくことをおすすめします。

Successful examinee's message | 教員採用試験合格者の声



佐賀県教員採用試験
小学校 合格

初等教育教員養成課程 4年

おお た ゆう すけ

太田 祐介さん

佐賀県立小城高等学校出身

①福岡教育大学での学び

私は福岡教育大学に入学して、教員になりたいという夢を叶えることができました。大学生生活を振り返ると、日々の学習だけでなく学習支援ボランティアや短期留学など、とても充実した4年間を過ごすことができたと思います。

ボランティア活動

私は、大学の近隣の小学校で週1回、学習支援ボランティアに3年間参加しました。実際に子どもたちとたくさん関わることができたので、自分が教師となった時のイメージをもつことができました。現場の先生方の子ども達への声掛けや発問の仕方を観察して、次のボランティアの時に実践していくようにしました。これを通して、子どもの発達段階に合わせた支援の大切さを学びました。

また、東日本大震災に伴う被災地学習支援ボランティアにも参加しました。被災地で語り部の方から生の声を聞くことができ、貴重な機会となりました。当たり前の日々を当たり前と思わずに1日1日を大切にすることを子ども達だけでなく、身近な人に伝えていきたいです。

課外活動

大学生の時にたくさんのことを経験したいという思いから、アメリカ合衆国のウィスコンシン州に短期留学しました。3週間という短い期間でしたが、英語でコミュニケーションをとる機会が増え、もっと英語を学習したいという思いが強くなりました。今でもホストファミリーや現地地で出会った方とは、SNSを通じて近況などを連絡し、楽しい日々を過ごしています。このことは異文化の理解を深めたいというきっかけにもなり、これからもこの経験を活かして様々なことに取り組んでいきたいです。



ホストファミリーとの思い出

教員採用試験対策

今年はコロナ禍での試験ということもあり、今までと異なることが多く、不安になることが多くありました。その中でも支えてくれたのが大学で出会った仲間です。なかなか対面で会うことができない中で、ビデオ通話やチャット等を活用して、情報を共有していました。

2次試験対策では、一緒に頑張っている仲間の姿を見て「自分も頑張ろう」と気持ちを奮い立たせました。試験対策を重ねていく中で、少しずつ自信をもつことができました。この対策のおかげで、本番では緊張せずに臨むことができました。一緒に頑張った仲間の存在はとても大きく、感謝しています。今年は例年以上に人とのつながりの大切さを感じた一年となり、同じ志をもった仲間が近くにいたからこそ、合格をつかめたと思います。

②教員として働くことへの意気込み

私は、春から佐賀県の小学校の教員になります。不安もありますが、それ以上にたくさんの子ども達との新しい出会いに胸を膨らませていきます。福岡教育大学での講義や教育実習で学んだことを活かして、子ども達の「なぜ？」を「わかった!」に変え、学ぶことは楽しいということを伝えていきたいです。幼い頃からなりたっていた教員という仕事に春から就けるので、1年目ということに甘えずに先輩の先生方からどんどん学んでいき、何が一番子ども達のためになるかを考えながら、自己研鑽に努めていきます。子ども達との出会いを大切に、子ども達と共に楽しく学んでいける日々を心から楽しみにしています。



サークルのみんなと



実習班のみんなと



学習支援ボランティアの様子



熊本市教員採用試験 中学校数学 合格

中等教育教員養成課程
数学専攻 4年

よしだ こうき

吉田 弘生さん

熊本県立天草高等学校出身

①福岡教育大学での学び

福岡教育大学では本当に充実した学生生活を送ることができました。教員を目指すうえで必要な能力を養うことができ、なによりも人間性を豊かにすることができました。教員採用試験にも無事合格することができ、福教大に入学してよかったと思います。

課外活動

私は4年間準硬式野球部に所属しました。準硬式野球部で過ごした4年間で多くのことを学び、経験することができました。特に人と協力することの大切さを強く感じることができました。私は主務として、部の運営の中心を任せてもらいました。学生でだけで運営していく部活動のため、部員それぞれの意見をうまく取り入れながら全体をまとめるのはなかなか大変でした。どうしたら結果が残せるか、仲間と常に考え協力して部を運営してきました。野球という団体競技をやるうえでチームの団結力は必要不可欠です。仲間の協力なしでは、まとまりのあるチームにはなっていなかったと思います。

また、私はこの準硬式野球部での活動を通し、かけがえのない仲間に出会うことができました。先輩、後輩、そして同級生に本当に恵まれたと思います。準硬式野球部で活動することができ本当に良かったです。ここで得られたつながりはこれから先も大切にしていきたいと思っています。

教員採用試験対策

私が本格的に教員採用試験に向けて対策を始めたのは3年の3月頃でした。新型コロナウイルスが流行し、大会やリーグ戦が続々と中止になり正直なかなか勉強に切り替えることができませんでした。世間的にも自粛が求められ暗いムードでしたが、同じ教科の友人や部活の友人と一緒にモチベーションを上げながら勉強に励みま



教育実習

した。主な対策はキャリア支援センターに頻繁に通い、一次試験の筆記も二次試験面接、小論文も練習の数をこなしました。誰よりも練習してきたという自信を持って試験に臨むことができたため、自分の実力を発揮することができたと思います。福教大のキャリア支援センターは教員採用試験対策に必要な情報と心強い先生方がそろっています。有効に活用すれば、合格は見えてくると思います。また、勉強ももちろん大切ですが、大学生活を全力で楽しみいろいろな経験をしておくことも大切です。ぜひ充実した学生生活を送ってください。教員採用試験に向けての勉強は憂鬱になることもあると思いますが、友達と情報を共有したり、励ましあったりしながら頑張ってください。

②教員として働くことへの意気込み

4月から教員としての生活をスタートさせるにあたって今は不安しありません。ですが、実習や課外活動、福教大で学んだことを生かして精一杯頑張っていきます。私は「誰からも信頼され、愛される教師」を理想としています。生徒と正面から向き合い、理想の教師像に少しでも近づけるように努力していきます。1年目でうまくいかないことも多くあると思います。それでも、先輩教員にアドバイスをもらいながら、子どもたちとともに成長していきたいです。



大学祭



六大学リーグ戦



準硬式野球部同級生



山口県教員採用試験
特別支援学校小学部 合格

北九州市教員採用試験
特別支援学校小学部 合格

特別支援教育教員養成課程
初等教育部 視覚障害児教育専攻 4年

いぬい かなこ
乾 夏奈子さん

山口県立下関西高等学校出身

①福岡教育大学での学び

課外活動

大学4年間を通して、私は障害のある子どもを対象としたさまざまなボランティア活動に参加しました。2年次には、障害のある子どもとその兄弟を対象としたイベントの企画をしたり運営したりするボランティアサークルのリーダーを務めました。一人一人実態の異なる子どもたちが、一緒に楽しめるように、そして安全に活動できるようにサークルの仲間や保護者、施設の関係者と話し合いを重ねました。レクリエーションを考えたり、大勢の学生と子どもをまとめたりすることは難しく感じることもありましたが、それ以上にイベント中、夢中になって遊んでいる子どもたちの笑顔にやりがいや達成感を感じました。

授業

私は視覚障害児教育専攻に所属しており、授業の中で触覚教具の作成や点字指導について学びました。ゼミでは視覚特別支援学校や療育施設、就労支援施設などを見学する機会を設けていただきました。このことは子どもたちの将来を見据えた教育について考える貴重な経験になり、私自身の視野を広げることができました。また、その他の障害についても指導法などを学び、5障害の免許を取得できたことは様々な実態の子どもたちの支援への自信になりました。

さらに、教育実習を通して、一人一人の子どもの実態に合わせて活動を構成したり、教材を作成したりする中で、子どもが成長する喜びをもっと感じたいと思うようになり、特別支援学校の教員を志望することになりました。



サークルのみんなと旅行

教員採用試験対策

私が教員採用試験を受けるにあたって、同じ自治体を受ける仲間の存在は欠かせませんでした。今年は新型コロナウイルスの影響で例年とは異なる試験内容・方法だった上、要項発表後の変更もあり、多くの不安がありました。そのような状況の中で、仲間と情報を共有し、励まし合いながら試験対策を行うことで不安も徐々に減り、前向きな気持ちで自信をもって臨むことができました。リモートで一緒に面接の練習を行ったり、模擬授業の内容を検討したり、実技の練習をしたりしたことは、学生生活で楽しかった思い出の一つです。また、一緒に試験対策をする中で、お互いの良さやアイデアを吸収し、お互いを高め合えたことも合格につながったと思っています。

②教員として働くことへの意気込み

私は、春から特別支援学校の教員になります。大学生活では、授業やサークル活動、教育実習、放課後等デイサービスでのアルバイトなどで、多くの出会いがあり、素敵な思い出もできました。その出会いの中で私自身は大きく成長できたと思っています。福岡教育大学で学んだ多くのことを最大限に生かし、教員として成長し続けたいと思います。私の明るさと前向きさという「自分らしさ」を生かして、子ども一人一人の「自分らしさ」を大切にできる教師になりたいです。これからの新しい出会いを楽しみにしています。



ボランティア参加学生と



ボランティアスタッフの仲間と



レクリエーションの準備



学校法人大塚学園
吉島幼稚園 採用

初等教育教員養成課程
幼児教育選修 4年

さ たけ か
佐竹 ほの香 さん

広島県立吉田高等学校出身

①福岡教育大学での学び

私は幼児教育選修の少人数で温かな雰囲気の中で、充実した4年間を過ごすことができました。座学に加え多くの実習体験を通して、幼児についての専門的な知識や援助のあり方を学ぶことができました。私自身の福教大での学びを改めて振り返ってみます。

幼稚園教諭に決めたきっかけ

私が学生生活の中で一番印象深いのは、教育実習です。幼児教育選修の学生は、小学校・幼稚園両方の実習に参加します。実習を通して、授業や保育はもちろんのこと、子どもたちと関わる中で距離感や言葉かけなど、小学生と幼児相手では異なる点が多く苦戦しました。しかし、担任の先生が丁寧に状況に応じたアドバイスをくださり、自身の課題と前向きに向き合うことができました。

私が幼稚園教諭に決めたきっかけは、実習中の子どもたちとのやりとりの中で、子どもたちの柔軟な発想や想像力、新たな発見に日々刺激を受け、幼児期の子どもたちのことをもっと知りたいと感じたからです。私は小学生の頃から幼稚園教諭を志していましたが、実習の中で自ら保育を行い、幼児教育に携わりたいという思いが強まりました。

就職活動

私は地元である広島の幼稚園へ就職を考えていたので、4年生の6月頃から広島の幼稚園の情報を集め始めました。広島県私立幼稚園連盟無料職業紹介所「わーくけんよう」に登録して、園の募集状況などを調べました。今年はコロナの影響で、園の合同説明会等がなくなったため、情報収集に苦戦しました。そこで、園のHPで特色や保育について調べ、気になった園には自らアポ取りをして見学



幼教集合写真

に行きました。早めに自分から行動して、園について調べたり見学に行ったりと情報収集を行った方が良いと思います。

就職試験対策

私が採用試験を受けた園では、実地試験とピアノの弾き歌い、面接が試験内容でした。そのため、ピアノの練習をしました。また、面接の対策として、志望理由や大学で頑張ったことなどについてまとめました。他に特別対策できなかったため、実習で学んだ子どもとの接し方や言葉のかけ方を意識して当日の実地試験に臨みました。実習での経験があったため、試験を楽しむことができました。

②幼稚園教諭を目指す後輩に一言

私は、春から子どもたちと共に成長していきたいという期待でいっぱいです。もちろん不安もありますが、幼児期の子どもたちの成長に携われることを嬉しく思います。大学生活の4年間、同じ志をもつ仲間と共に多くの実習を経験し、保育について学べたことを誇りに感じています。目の前の子どもたち一人ひとりに寄り添い、感動や発見を共有できる保育者になりたいです。

幼稚園教諭や保育士を目指す皆さんは、大学に届く求人情報以外にも、自分での情報収集が重要になってくると思います。自分がどんな園で働きたいのかを考えながら、園の特色や勤務形態等について調べ、気になった園には積極的に見学に行くと良いと思います。

※幼児教育選修を略して「幼教」といいます！



幼稚園実習のメンバー



幼教の友達とドイツへ語学研修に



幼教のみんなで沖縄旅行

教員採用試験合格に惜しくもあと一步届かなかった人へ

教員採用試験合格を目指してがんばってきたが、惜しくもあと一步届かなかった人もいます。

大切なことは、まずここで教師を目指す気持ちや信念をもう一度確かめることです。

そして、自分の課題はどこか、何を伸ばせばいいのかという自己分析を改めて行うことです。

自分の目標をしっかり定め、具体的な方策を考えて実行していくことで、今後の生活がよりよい充実したものになると考えます。具体的な進路選択としては、下記のようなものがあげられます。

奥田就職支援アドバイザー



	それぞれのメリット	注意点
①講師になる	・収入がある ・現場で経験を積むことで教師としての実践力が付く(学級経営、指導力など)	・教員採用試験に向けた受験勉強の時間を作るのに努力や工夫を要する
②私立学校の教員になる	・収入がある ・勤務地が固定 ・現場で経験を積むことで教師としての実力が付く(学級経営、指導力など)	・一年間は講師として採用されることが多い ・転勤が少ない
③大学院へ進学する	・教職についての理論と実践が深く学べる ・教採への特例措置がある(試験科目の一部免除、合格後に大学院修了まで採用を待ってもらえるなど、自治体によって異なる)	・授業料が必要(奨学金を活用することも可能)

キャリア支援センターには講師等希望者名簿があります!



※連絡先変更や情報提供不要になったらキャリア支援センターへ連絡を! TEL:0940-35-1249 FAX:0940-35-1759 E-mail:csc-jimu@fukuoka-edu.ac.jp

キャリア支援センターには、公立私立問わず学校等(教育委員会を含む。)から常勤講師、非常勤講師等の求人情報が多数届きます。そこで、キャリア支援センターでは、講師等希望者名簿を独自に作成し、登録者へ求人情報を提供したり、学校等に名簿登録者の情報を提供したりすることで講師等就職のサポートを行っています。もちろん、希望する教育委員会への講師登録が最優先ですが、上記の方法もありますので、卒業後の進路選択に役立ててください。

令和2年度福岡教育大学未来奨学金授与式を実施

令和2年11月2日(月)に令和2年度福岡教育大学未来奨学金授与式を実施しました。

「福岡教育大学未来奨学金」は、学生の学業及び海外留学を奨励することを目的として、平成24年度に創設された本学独自の給付型奨学金です。この奨学金は「学業成績優秀者奨学金」と「国際交流協定校派遣支援奨学金」の2つがあり、今年度で9回目の授与となります。

今年度はソーシャルディスタンスの確保・マスク着用等の新型コロナウイルス感染症対策を講じた中での授与式となり、飯田学長から「奨学生の皆さんには、受け取った奨学金を活用し、学校教育現場、あるいは地域社会等で指導的役割を果たし、活躍する人物となることを期待しています。」、高野後援会会長から「明日の子どもたちを育てる素晴らしい教師として活躍することを期待しています。」、太田同窓会会長から「本学で学んだことを卒業後の社会生活で活かしてください。同窓会は学生の間も卒業後も

皆さんを支援していきます。」と激励の言葉が贈られました。

これを受け、学業成績優秀者奨学生を代表して初等教育教員養成課程3年の城崎優真さんから、感謝の言葉とともに「いただいた奨学金は、教員になるという夢のため

に有意義に活用したいと思います。」と決意が述べられました。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、学業成績優秀者奨学生(20名)への奨学生証授与のみとなりました。



授与された学生と飯田学長(前列中央)、高野後援会会長(前列中央右)及び太田同窓会会長(前列中央左)
※写真撮影時のみマスクを外しています。

令和2年度大学教員活動評価に関する表彰式を実施

本学では、令和2年11月10日(火)に、令和2年度大学教員活動評価の結果に基づいた学長表彰式を実施しました。

本学は「大学教員活動評価」として、教員が行う諸活動を、教育・研究・社会貢献・学内運営の4領域にわけて、毎年度、自己点検・評価を行っています。その総合評価が優秀であった教員から、学長が2名を選考し、表彰することにしており、令和2年度は、英語教育ユニットの宮迫 靖静教授、特別支援教育ユニットの一木 薫教授が選ばれました。

宮迫教授は、英語教育の分野において教育・研究、社会貢献等に尽力し、特に学会での活躍が評価されました。

一木教授は、特別支援教育の分野における教育・研究、特に国の会議の委員を務めるなどの社会貢献に尽力していることが

評価されました。

式では、宮迫教授及び一木教授に、学長から学内運営への貢献に感謝するとともに

「これからのますますのご活躍を期待しています。」として、表彰状と記念品が贈呈されました。



(左から)宮迫靖静教授、飯田学長、一木薫教授
※写真撮影時のみマスクを外しています。

福岡教育大学附属幼稚園が宗像市教員等研修会を開催

福岡教育大学附属幼稚園において、令和2年11月4日(水)、宗像市教育委員会主催による宗像市保育所保育士、幼稚園・認定こども園教員等研修会を開催しました。

コロナ禍の研修会開催にあたり、感染症対策を徹底し人数を制限して、若手教員の研修の機会としました。

宗像市内の乳児・幼児関係の施設16所・園より経験年数3年未満の先生方22名、宗像市こども育成課より3名、教育政策課より指導主事1名を迎え、公開保育・協議会を行いました。各所・園からの参加者は、各自課題をもって、熱心に参観したり、園児とやり取りしたりする様子が見られました。

協議会では、参加者の課題を焦点化し、本園が長く取り組んでいる、幼児による遊びの振り返り「ききましよう・おはなしましよう」について、また、幼児が主体的に遊ぶ「環境

の構成」や「教師の援助」についてなどの質問に担任が答えました。

最後に、本学教育学部学校教育ユニット船越美穂教授より各園の課題についての考察と本園の環境や保育についての講評がありました。

参加者から「(自然物など)身近な物でも子供は遊びを創り出し、イメージを膨らませている。先生方が、そのイメージをわかりやすく引き出し『楽しい』、『やってみよう』を創っているところが、とても勉強になりました」等の感想がありました。

また、全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会が作成したリーフレット「遊びを充実させる環境構成の工夫」に附属幼稚園の「幼児期における環境教育を探る」というテーマの4歳児と5歳児の保育実践が記載されました(令和2年3月)

本園では引き続き、幼児教育の振興に寄与し、実践研究の成果を公開・発信していきたいと考えています。



宗像市保育所保育士、幼稚園・認定こども園教員等研修会の様子

本学学生が糸島警察署一日署長に就任

令和2年11月30日(月)、糸島市年末年始特別警戒パトロール隊出発式が行われ、本学柔道部の瀬戸勇次郎さん(特別支援教育教員養成課程 中等教育部3年)が一日警察署長に就任しました。

瀬戸さんの地元は糸島市で、4歳から糸島で柔道を始め、前原小学校、前原西中学校に通っていました。

今回の一日警察署長は、「広報いとしま」に載っていた瀬戸さんの記事を見た糸島警察署有馬健一署長からの希望により実現しました。

前原中央公園で行われた出発式で、瀬戸さんは「糸島の自然豊かな環境や今まで育ててくれた家族、学校関係者等の周囲の

支えがあったおかげです。」と感謝の言葉を述べ「この糸島が皆様方の活動で日本一安全で安心なまちとなりますよう心からお祈りしております。」と挨拶がありました。

その後、小学校の下校時刻に合わせ、白バイ、パトカーに続き、各校区の青色パトロール車、日々配達業務などで使用しているバイクなどで、各地域を巡回しました。さらに、保育園園児の可愛い鼓笛隊の演奏に合わせ、前原名店街をパレードしました。

瀬戸さんは、来年開催予定の東京パラリンピック男子柔道66kg級の日本代表の最有力選手であります。本学は、これからも瀬戸さんの活躍を応援していきます。



年末年始特別警戒パトロール隊出発式

第6回(令和2年度)学生ボランティア活動報告会を開催

福岡教育大学の特色ある取組の一つに「学生ボランティア活動の充実・推進」があります。

学生ボランティア活動の取組の成果を総括・発信する場として、学生ボランティア活動報告会を毎年実施しています。本年度(令和2年度)、第6回目となる報告会を去る11月20日(金)、アカデミックホールにて開催しました。

本学における学生ボランティア活動は、学生に社会との接点を持つ機会を与えるとともに、教師をめざす上での教育実践力を育成することを目的に、教育の一環として位置づけられ、支援を積極的に行っています。昨年度は延べ3,751人の学生が活動に参加しました。夏季休業等を利用した「短期集中型ボランティア活動」では、のべ733名の学生が、それぞれの出身地域での小中学校

で学習支援ボランティア活動に取り組んできています。しかし、昨年度末から本年度にかけてのコロナ禍で、ボランティア活動も大きく制限され、6月15日からようやく少しずつ再開される事態となりました。このような困難な状況でしたが、学生の熱意に支えられ報告会を開催することができました。学生ボランティア活動報告会は、昨年度より、学生の主体性を重視し、学生ボランティア活動

報告会実行委員会を設立し、企画・運営を学生の手で行ってきています。

まず、学生ボランティア活動認定学生の表彰式を行い、「リーダー認定者」の5名、「チーフ認定者」の6名及び「サポーター認定者」の22名が、飯田学長から表彰されました。

次に、実践報告とシンポジウムを行いました。

実践報告では、学校支援から「教育実習とボランティア活動」、福祉支援・地域支援から「マスクづくり」、そして「東北震災復興支援」と、様々なボランティア活動経験者3名が報告を行いました。ボランティア活動を通して、大学で学んだことが地域や子どもたちのために生かされたことや、失敗を含む様々な経験をおして、より多くの事象に意識が向くようになり自身の成長につながったこと等、熱のこもった発表が行われました。

シンポジウムでは、「教育実習と学生ボランティア活動をつなぐ喜び」をテーマに、学生5名をシンポジストとして、経験してきたボランティア活動と教育実習を中心とした大

学での学修のつながりについて意見交換を行いました。シンポジウムのコーディネーターの生田教授から、ボランティア活動で得られた経験を振り返り未来につないでいくことの重要性和学生の成長への期待感が示され、本学のボランティア活動の意義を再確認することができました。

最後に、来賓を代表して宗像市立赤間西小学校の大門校長より、ボランティアを受け入れる立場からボランティア活動の有用性についてお話しいただくとともに、学生への励ましのお言葉をいただきました。

参加した学生からは、「ボランティアには参加していたが、自分の心もち次第で活動がどれだけ有意義になるかが決まるものだった。」「先輩方の感想や、思ったこと、学んだことの内容はとても貴重なもので、私自身では気づけない視点から学校運営や子どもたちの実態を観察していて、今後ボランティアに参加する際にとても参考になった。」といった感想が寄せられ、今後の活動に繋がる有意義な報告会となりました。

本学では、今後更に教職員・学生が協働して、学生全員のボランティア参加を目指し、学生ボランティア活動の一層の充実に努めてまいります。



学生ボランティア活動認定学生の表彰



学生代表5名によるシンポジウム

【グッドプラクティスに選定!】文部科学省「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する取組状況について～グッドプラクティスの共有と発信に向けた事例集～Vol.3」に本学の取組が選定

令和2年12月、文部科学省のホームページにおいて、「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する取組状況について～グッドプラクティスの共有と発信に向けた事例集～Vol.3」が公表されました。

本事例集は、「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議報告書(平成29年8月)」を踏まえて、文部科学省が、教員養成学部を置く各国立大学の取組の中から、特色ある好事例や先進的な取組等を公表しているものです。

本年度は、各大学や附属学校において実施されている新型コロナウイルス感染症への対応等を踏まえた取組について事例が募集され、本学の附属福岡小学校・中学校、附属小倉中学校の3件の取組がグッドプラクティスに選定されました。

【福岡教育大学】附属福岡小学校オンライン朝の会の実施及び全国の教育関係者への公開

○Zoomを利用したオンライン朝の会の実施
保護者から、児童の生活習慣に関する相談や学校とのつながりに関する要望が寄せられたことから、4月27日からZoomを利用したオンライン朝の会を開催した。オンライン朝の会では、ウォーミングアップ、朝の挨拶、健康観察、学校朝と今日の志(目標)紹介などを行った。

○オンライン朝の会の全国の教育関係者への公開を通じてノウハウの提供
オンライン朝の会について、県内外の教育関係者から参加希望の要請があり、オンライン朝の会の様子の公開した(5月7日～5月12日)。朝の会の終了後、教育関係者に対する無料相談会を開催(終了後30分間)した。

【無料相談会の実施状況】
参加者は、北海道から沖縄まで全国から589名が参加した。オンラインでの教育に関する教育関係者250名から感謝の声が寄せられた。本校の取組をきっかけに福岡市立直道小学校がオンライン朝の会を導入している。

Zoomを利用したオンライン朝の会を実施
・保護者から生活習慣に関する相談や学校とのつながりへの要望
・県内外からオンライン朝の会について参加希望
・5月7日～5月12日の間でオンライン朝の会を公開
・朝の会終了後、30分間の無料相談会を実施
・全国から589名が参加し、250名から感謝の声

全国の教育関係者への公開/ノウハウの提供

満足度 99.2

【福岡教育大学】附属福岡小・中学校「福岡市つながるクラウド」への授業動画提供による地域貢献

○臨時休校に伴う学習支援の必要性
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校(3月)のため、福岡市内の子供たちは、学期当初に学習を進められない状況であった。

○「福岡市つながるクラウド」への授業動画提供
福岡市教育センターから依頼があり、「福岡市つながるクラウド」に本校教員の授業動画を提供した。国語科、社会科、算数科、理科、英語科の計37本の授業動画を福岡市内の小・中学生が利用した。動画の一部は本校のYouTubeチャンネルにも掲載したところ、視聴回数が3,000回を超える授業動画もあった。

○休校中の地域の子供たちの学びの場提供に貢献
ゴールデンウィーク中は、地元キー局サブチャンネルで放映、連休中の自主学習へ活用され、地域の学びの場提供に貢献した。

福岡市教育センター
福岡市つながるクラウド
授業動画作成・提供
福岡市内の小中学生が利用
・G・H中は地元キー局のサブチャンネルで放映
・地域の学びの場提供に貢献

【福岡教育大学】附属小倉中学校「学びと成長を止めないプロジェクト」

「学びと成長を止めないプロジェクト」を立ち上げ、オンラインツールを活用した支援を実施した。そのうち「学びと成長を止めない」取組では、主に子供の学習面のケアを中心に以下に取り組んだ。

○各課のアプリの特色を踏まえた多様な学びへの対応(※臨時休校中)
・Zoom(みんなの、同時に)・YouTube(いつでも、何處でも)
・ロイノート(先生と双方向で)・まなびのポケット(ひとりでも)

○対面授業とオンライン配信とをハイブリッド方式(※分教室制中)
授業は授業2分(20人)と在宅オンラインZoom(40人)の同時進行で授業を実施した。対面授業を行う教師1名、オンラインで授業に参加する生徒を支援する教師1名がチームで授業を行い、分教室制中においても、生徒全員が授業の学びを継続することができた。学習評価についても、複数教師が関わることで、対面授業時における適切な支援を実施することができた。

○数回の在学中の支援の提供(※臨時休校中)
教師は上記に係る打ち合わせ、教材作成、オンライン授業を在宅で実施した。

①多様な学びへの対応
②対面授業とオンライン配信とのハイブリッド方式

教員紹介 & 学生から見た先生の魅力

■教育ユニット

いし がみ よう めい
助教 石上 洋明

出身地:長崎県
最終学歴:福岡教育大学大学院
教育学研究科教育科学専攻
美術教育コース
取得学位:修士(教育学)
本学着任:2017年



「豊かさ」ってなんだろう、 自分なりの答えを探し求めよう

専門の研究テーマ

幼児の美術・造形表現教材の研究をしています。幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であり、出会いひとつひとつがとても大切なものです。子どもの将来を見据え、「豊かな心」を育むには、幼児期にどのような遊びや教材、素材に触れてもらうか、美術・造形の視点から探っています。



幼児・児童向けのワークショップ

大学教員に進むことになったきっかけ

これまでに、いくつかのターニングポイントがありましたが、最も大きな影響を受けたのは大学時代の恩師です。大学では、伝統工芸の鍔金(ちゅうきん)を専攻していましたが、恩師からは芸術に関わることに以外にも、教育者としてのあり方など、その背中から学ばせていただきました。そこで教えていただいたことを次の世代にも継承していきたい、そういった想いが大学教員を目指すきっかけとなりました。



附属幼稚園での卒園記念メダルづくり

研究成果の教育への還元

絵を描いたり、ものを作ったりすることに対し、苦手意識を持つ大学生は少なくありません。研究では、表現することを楽しんでもらう教材を開発していますので、大学の授業でも積極的に研究の成果を取り入れています。また、授業の中で見つけた課題をもとに新たな研究の視点を見つけるなど、研究と教育を往還させながら教材をブラッシュアップさせています。そのほか、学外でのワークショップなどでも、研究成果を活用しています。学生の皆さんにも協力してもらいながら、研究成果の社会還元も目指しています。

こだわりの物・考え・モットー

「ものを大切に」がこだわりでもあり、モットーでもあります。ありふれたものであっても、手入れをしながら大切に使うと、徐々に自分に

馴染んで唯一無二の大切な宝物になります。現在、20年ほど履き続けている靴がありますが、今もまだ現役です。手入れをする過程にも、研究や教育につながる様々な発見がありました。私は、ものを大切にすることによって、ものづくりの基礎的な資質・能力が養われたのかもしれません。

福岡教育大学で学ぶ学生に一言

いろいろなことを面白がったり、楽しんだりする心を常に持って、大学生活を送っていただきたいです。授業や課題、教育実習、採用試験や就職活動など、そのほかにも学生生活で苦しいことや不安に感じることもあるかと思いますが、そんなときに一度視点を変えて、面白さや楽しさを見つけようすると、また新しい風景が見えてくるのではないのでしょうか。



校内での造形素材探し(フレッシュマンセミナー)

学生から見た先生の魅力 温水 美南、越智 愛美、陶山 友美、増田 さくら (初等教育教員養成課程 幼児教育選修)

- 石上先生は、授業のことだけでなく進路についてもいつも親身になって指導して下さいます。また、授業はフィールドワークなどが多く、毎回わくわくしています。
- 子どもの発達や子ども理解について、造形や表現の観点からアプローチしていく石上先生の授業は、私たち学生が楽しんで活動できるものばかりです。普段触れることのないような題材や課題を用意して下さるので、自分の視点を広げるきっかけになっています。また、型にはまらない先生のスタイルが、自分にとって非常にいい方向に作用していると感じています。ひとりひとりに丁寧に指導して下さるところも、魅力のひとつだと思います。
- 石上先生はとても親身に接して下さる先生で、先生の存在にすごく助けられています。授業は新しい発見が出来るものが多く、大学生ながらハッと、ワクワクさせられます。
- 石上先生は、私たち大学生が、実際に子どもの目線になって遊んだり、考えたりすることができるような授業やアドバイスをしてくださり、いつも楽しく学ぶことができています。授業は座学だけでなくフィールドワークも多いため、実際に素材に触れることができ、自分自身での発見が多く、ワクワクさせられます。



石上研究室の学生と

水泳部

初等教育教員養成課程 4 年

みやざきしんのすけ
宮崎 信之介

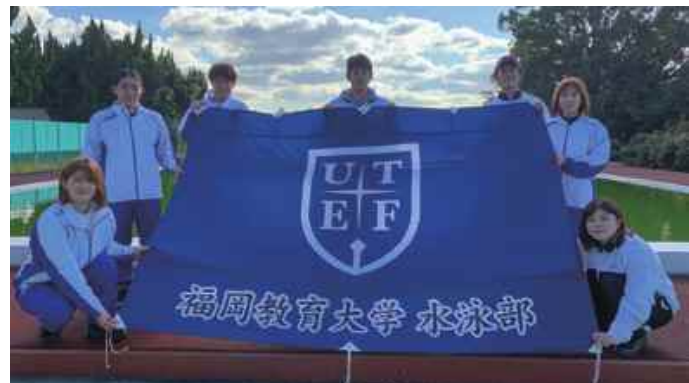
私たち水泳部は現在スイマー5人、マネージャー2人の計7人です。少人数ながらも「部活の雰囲気はどこにも負けない!」という気持ちで、夏の全国大会に向けて日々活動しています。中学・高校まで水泳を頑張ってきた人はもちろん、教員採用試験では水泳が取り入れられている自治体も多いので、大学から水泳を始めたい人も大歓迎です!

水泳部では部員全員がそれぞれの目標をもち、本気で毎回の練習・大会に臨んでいます。その成果として、九州国公立大学選手権での優勝や、部員全員が全国国公立大学選手権に出場するなどの結果も残すことができています。



例年、歓迎会や教育実習お疲れ様会、4年生の卒業イベントや寒中水泳など、部員全員で盛り上げられるイベントも行っています。さらに、歴史のある福岡教育大学水泳部には、多くのOBの方々がいらっしゃることも魅力の一つで、あらゆる現場で活躍されている先輩方は本当に頼もしい存在です。

私たちは、水泳部だからこそその経験や、仲間との絆を大切にしながら、日々自身の成長を感じることができています。あなたも大学4年間を水泳部で充実させてみませんか?



サークル紹介

C I R C L E I N F O R M A T I O N



管弦楽団

中等教育教員養成課程 音楽専攻 3年

もりあやね
森 絢音

私たち、管弦楽団は、男女合わせて27人のメンバーで毎週月、水、木曜日の週3回音楽教棟で楽しく活動しています。音楽初心者から経験者まで様々な人が在籍しており、とても仲の良い部活です。

日々の活動の他に、入学式や学祭での演奏や、小学校に行きって演奏のボランティアなども行っています。また、年に一度アクロス福岡など大きな会場を借り、定期演奏会を開いています。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により例年通りの活動が難しい状況になっていますが、感染対策を取りつつも部員が一丸となって楽しく活動に励んでいます。



また、新入生歓迎会や卒業生お別れ会、部員みんなで行くスキーなどの様々なイベントを開催しており、来年以降の状況によっては、みんなが楽しめるイベントをどんどん企画していきたいと思っています。定期演奏会近くになると宿泊施設を借りて演奏合宿なども行っているのですが、その中でもレクリエーションなど部員同士の親睦が深まるような楽しい企画を用意しています。

私たちは、一緒に楽しく演奏できる仲間を大募集しています。興味がある方はぜひ音楽教棟に足を運んでみてください。お待ちしております!!





▲今年度担任するクラスの学級旗
デザイン決めから作成まで、すべて子どもたちが主体的に話し合いながら進めました。教室後方に掲示しています。

◀3年目 道徳教育推進担当教師公開授業
3年目は、校務分掌で、道徳教育推進担当をしました。2年生の題材「金のおの」の授業を公開したり、職場自主研修で道徳についての研修を行ったりしました。2年目のときには、前期社会体験研修として、日の里中学校7年生の3クラスで、道徳の授業を行いました。

日の里学園の一員としてのやりがい

私が勤務している宗像市立日の里東小学校は、日の里西小学校と日の里中学校と共に、「日の里学園」として小中一貫コミュニティ・スクールを行っている学校です。小学校1年生から中学校3年生までを1～9年生と呼び、小学校高学年では、一部教科担任制が導入されています。現在、本学園の校務分掌では、コミュニティ・スクール推進主任をしています。この校務分掌の大きな役割である「日の里カリキュラム」の作成と取り組みの推進をするともに、毎月1回、日の里学園三校合同で行われる校務会議に出席し、生活科と総合的な学習の時間における各学年の活動内容を報告しています。今年度新設の分掌のため、悩むこともたくさんありますが、本校のみならず、学園の先生方と協力し合いながら進めています。

学級担任としてのやりがい

今年度は、5年生の担任をしています。素直で優しい子どもたちと過ごす毎日は、本当に楽しく、充実しています。教科担任制の授業を終え、教室に戻って来た子どもたちが、笑顔で「先生、ただいま!」と言ってくれたり、私が出張から帰って来ると、教室の黒板に「先生、おかえり!」と書いてくれたりして、心が温まります。

私が学級の子どもたちと関わるときに、いつも心がけているのは、一人ひとりとできる限り対面で話すことです。美味しい食べ物の話やおもしろい話をして盛り上がることもあれば、別室で悩み相談などを受けて心に寄り添うこともあります。



▲教育実習日誌や手紙
左下のアルバムは、幼児教育選修の友だちからプレゼントしてもらったものです。毎年、18人一人ひとりの誕生日を祝っていました。社会人になった今も、会う度に大学生の頃の話をして盛り上がります。



▲3年目 市教委訪問授業板書
3年目は、2年生を担当しました。低学年を担当したときは、幼児教育の知識や技能を生かすことができました。

高学年は特に行事が多く、全校のリーダーとなって行動します。2学期は、東小と西小合同で「セカンドスクール」というキャンプを行いました。行事を通して内面的に成長する子どもたちの様子を間近で見守ることができ、学級担任としてのやりがいと喜びを感じました。

教育実習での学び

大学3年生のときに、附属福岡小学校と附属幼稚園で教育実習をしました。附属福岡小学校では、今と同じ5年生を担当し、国語科「大造じいさんとガン」の授業を行いました。1回目の授業は大失敗に終わり、自分の情けなさや悔しさでいっぱいになったことを鮮明に覚えています。指導担当の先生からは、「たくさん失敗していい。子どものことを第一に考える一生懸命さが大事。」という言葉をかけてもらいました。教員になった今でも、子どもたちと関わる上で大切にしていることのひとつです。また、大学4年生のときには、現在の勤務校である日の里東小学校で、教育総合インターンシップ実習を行わせてもらいました。今、当時お世話になった先生方と一緒に、同僚として仕事をしています。尊敬する先生方と共にいろいろなことを学び、教えてもらいながら、教員として仕事をしています。いつも本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

学生へのメッセージ

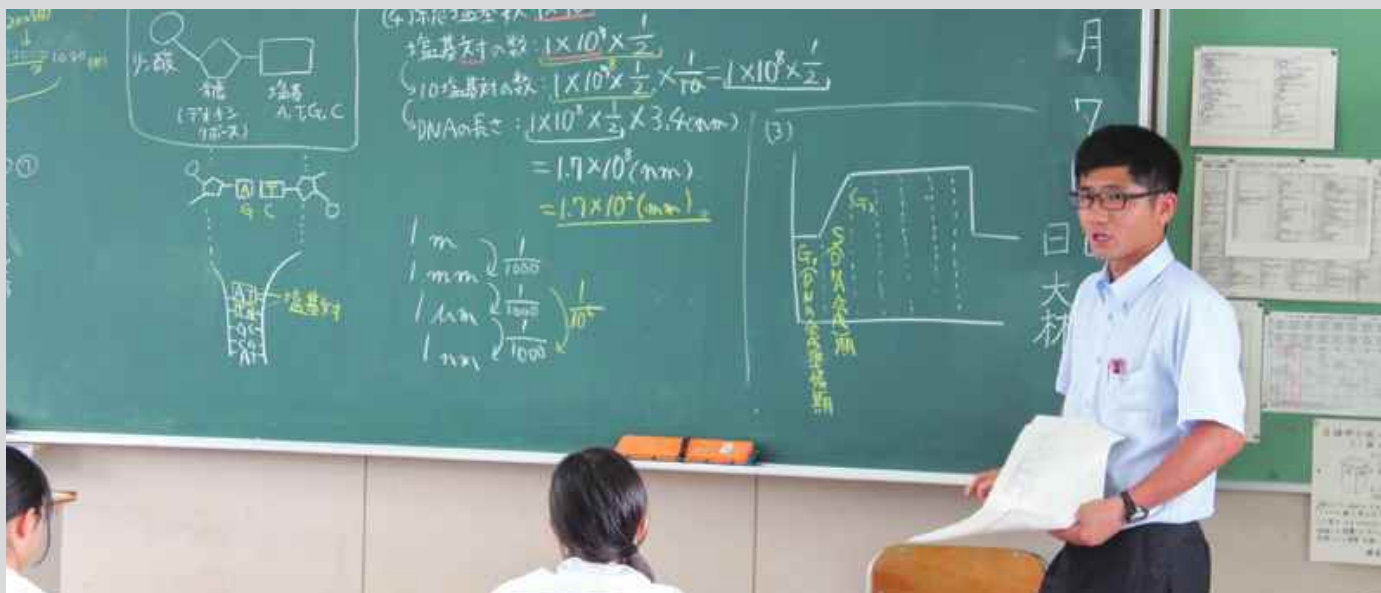
私が仕事をしていて思うのは、やりがいを感じる必要があるということです。もちろん、生活のために仕事をするという目的はありますが、それだけでは日々の充実はないと思います。そのため、学生みなさんも、自分がやりがいを感じる学校種は何か、よく考えて就職先を決定してほしいと思います。悩んだ時には、現場に足を運んでみてください。私も、大学3年生の教育実習後から、ボランティアとして、幼稚園や保育園、小学校などに何度も通いました。また、仕事の選択肢を広げるため、在学中に保育士の資格なども取得しました。今でも、「幼児教育選修出身なのに、どうして小学校を選んだの?」とよく聞かれますが、「勉強を教え、子どもたちが『わかった!』『できた!』と理解してくれたときなどに、やりがいを感じるから。」と答えます。現場で働く先生方の様子や子どもたちとの関わりを通して学び得ることは、本当に大きいです。目標や夢に向かって、後悔ないように全力で努力してください。そして、自分で決めたことにやりがいをもって取り組んでください。心から応援しています。

宗像市立日の里東小学校

いとう なつみ
教諭 伊藤 夏美さん

・初等教育教員養成課程幼児教育選修
平成29年3月卒業





仕事内容

私は、本校に勤務して5年目になります。現在は、2、3年生の生物基礎の授業を担当しています。また、2年の担任もしています。以前は、生徒から信頼される教師を目指していました。「自分が」どのような教師になりたいかを考えていました。それも必要だと思います。でも、最近、教師として「生徒に」どうなってほしいかを考えるようになってきたと感じていますし、そうしていきたいと考えています。

教師としての使命

生徒たちが将来の自分について考えていることを聞くと、楽(らく)して過ごしたい、安定した生活がしたい、お金持ちになりたい、自分の家を建てたいといった類のことを返答することがしばしばあります。「自分が」どうなりたいかが根本にあると感じます。これまでの私と似ているなと感じます。私は、生徒たちに将来の自分が「社会を」、「世界を」、「日本を」どうしていきたいか考え、行動するようになってほしいです。そのために、教師として尽力したいです。今後の日本にとって教育がとても重要だと考えていますし、職責の重さ、崇高な使命を感じています。将来の日本を支え、世界の中で日本の未来を切り拓いていく人材を一人でも多く育成していきたいです。

取り組んでいる事

様々な事を色々な視点から勉強することを心掛けています。すべての事象について勉強することは難しいですが、できる限りの勉強をしようと考えています。勉強するときに、一番気を付けていることは、1つの事象でも多角的な視点から考えることです。情報は溢れていますが、玉石混交です。私は、真実を知りたいと常に考えています。生徒達には真実を伝えたいし、どれが真実か見極めることができるようになってほしいので、まずは自分で実践できるようになりたいと日々行動しています。最近、感銘を受けたことは、没後50年になった三島由紀夫さんが新聞に寄稿された言葉です。「私はこれからの日本に大して希望をつなぐことができない。このまま行ったら『日本』はなくなってしまうのではな



造園科作業

いかという感を日ましに深くする。日本はなくなって、その代わりに、無機能的な、からっぽな、ニュートラルな、中間色の、富裕な、抜目がない、或る経済的大国が極東の一角に残るのであろう。それでもいいと思っている人たちと、私は口をきく気にもなれなくなっているのである」。もしかして今そうになっているのではないかと危機感を持ちました。今後の日本のために教育はどうあるべきか、教師としてどのように尽力できるか考えながら、今後も欠かさずに勉強していきたいです。



前任校の北稜高校造園科クラスマッチ



遠足時のクラス集合写真

熊本県立熊本北高等学校

おおたに あつし

教諭 大谷 淳さん

・環境情報教育課程環境教育コース
平成19年3月卒業

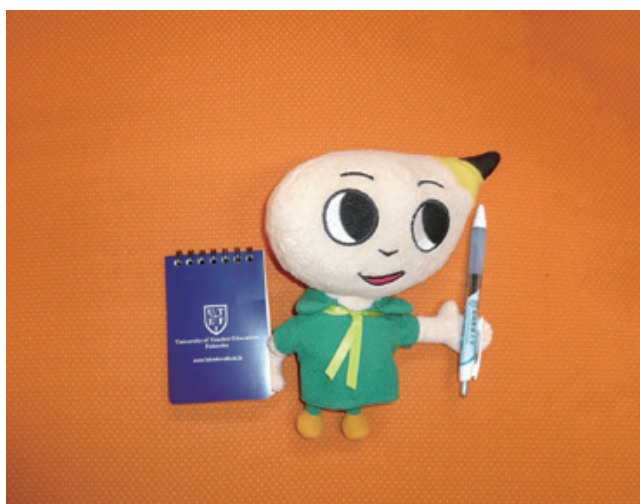


福岡教育大学オリジナルグッズの販売を開始しました

購買書籍店ステラ(学生会館2F)にて、福岡教育大学オリジナルグッズの販売を開始しました。第1弾は、メモ帳とボールペンです。ボールペンの中でも人気のジェットストリーム、福教大の名前入りなので記念にいかがでしょうか。



メモ帳とボールペン、生協で販売中



フッキーもメモ帳とボールペンを持っているよ

表紙モデルの福教大生

今回の表紙は、令和2年度実施公立学校教員採用試験合格者の4年生4名に登場していただきました。4人とも、この4月からそれぞれの学校で、教師生活がスタートします。本学での経験を糧に、これからも常に学び続けてください。初心を忘れず、子どもたちの成長をいっしょに喜べる先生になってほしいと心から願っています。

左から 中等教育教員養成課程音楽専攻4年 船津 愛莉さん
特別支援教育教員養成課程4年 平野 晴奈さん
初等教育教員養成課程4年 山上 晴呼さん
特別支援教育教員養成課程4年 中 謙真さん



福岡教育大学基金のご案内

福岡教育大学では、教育研究の更なる発展や充実を図ることを目的として、「福岡教育大学基金」を設けております。

特に「修学支援事業基金」では、経済的理由により修学に困難がある学生が、希望する教育を受けられるように、皆様からいただいたご寄付を、学生のために特化して活用します。

寄附をされる際に、「修学支援事業基金」と事業を特定してください。

広く教育界、産業界、地域の皆様方に、本基金への格別のご理解とご支援を末永く賜いたく、お願いを申し上げます。

公式ホームページ

福岡教育大学基金

検索

インターネット(クレジットカード払い)による寄付金の受付を開始いたしました。

お問い合わせ先

福岡教育大学財務企画課 TEL:0940-35-1210 FAX:0940-35-1701 E-mail:kaihosa@fukuoka-edu.ac.jp

Campus Letter

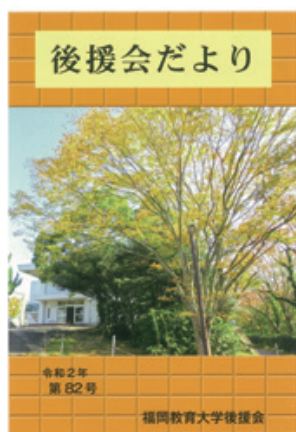
キャンパスからの便り

後援会

「後援会だより」第82号発行のお知らせ

「後援会だより第82号」を12月に発行し保護者の皆様へ送付いたしました。今回は教員採用試験・教育実習・学生生活、就職支援についてなどを掲載しています。

ご意見・ご要望などがございましたら、下記事務局までご連絡ください。



福岡教育大学後援会 事務局
TEL・FAX:0940-33-8070
E-Mail:kouenkai@eos.ocn.ne.jp

学生支援課

「学生ボランティア活動」に積極的に参加しましょう！

本学の特徴(魅力!)の一つは、「学生ボランティア活動の充実」です。ボランティア参加が、教員としての教育実践力と豊かな人間性を育む、自己発見・自己成長の機会となるよう、学生支援課のコーディネーターが支援しています。

Webで「ボランティアサポートシステム」にアクセス、または学生センター7番窓口を訪ねてください。よき経験と出会いが待っています！



学生センター7番窓口

UTEFVSS
(ボランティアサポートシステム)は
こちら！



同窓会城山会

コロナ禍中にこそ確かな同窓の絆を

同窓会城山会では、新型コロナウイルス禍中にありながら今年も年刊の「城山会会報」第51号を発行し、学生への支援の状況、研鑽に励む学生の状況、教育現場で奮闘する会員の状況などを各会員へ伝え、会員の絆を一層力強いものにしようと頑張っています。

また、将来への道標としての「完全統合30周年記念誌(城山会のあゆみ)」を編集・発行しています。



福岡教育大学同窓会 城山会事務局
TEL・FAX:0940-33-2211
E-Mail:jouyamakai@able.ocn.ne.jp

健康科学センター

健康科学センターでは、医師、看護師、カウンセラーが常駐し、学生や教職員の心身の健康をサポートしています。また「癒しのひろば」では、季節に応じて、色々な企画をしていますので、ぜひお気軽にお越しください。



健康科学センターHP
<https://hokenctr.fukuoka-edu.ac.jp/>



どんなベストセラーよりも、
生徒の日記を読むのが
たのしい。

あすの教育に、夢を。


 国立大学法人
福岡教育大学
 University of Teacher Education Fukuoka

(2014年度卒業生)



きょう蒔いた種は、
いつ花を咲かすだろう。

あすの教育に、夢を。


 国立大学法人
福岡教育大学
 University of Teacher Education Fukuoka

(2016年度卒業生)

Joyama 通信 vol.49

福岡教育大学広報誌第49号 2021年3月5日
編集発行: 国立大学法人 福岡教育大学 経営政策課

〒811-4192 宗像市赤間文教町1-1
TEL.0940-35-1205 FAX.0940-35-1259
e-mail: kouhou@fukuoka-edu.ac.jp
ホームページ: <https://www.fukuoka-edu.ac.jp/>



福岡教育大学
イメージキャラクター
フッキー



携帯電話サイト



Twitter



YouTube



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。